

建設工学専攻

人材養成および教育研究上の目的

建設工学専攻においては、高度で専門的な能力を有し国内外において幅広く活動する社会の器としての人々に優しい物的環境の創造に携わる人材を育成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

実務的な仕事に対する調和のとれた専門性を身につけ、国内および海外での高度な企業活動に対応できる高等技術者や建築家を目指す人を主に、加えて学校や企業などの研究機関で研究・教育に携わることを目指す人も対象に、各専門分野の基礎的学力と意欲を筆記試験及び面接試験にて判定する。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

広範にわたる専門領域に対応した基礎的な知識の習得を目指すとともに、いくつかの専門領域にまたがる新しい分野も取り入れ、カリキュラムを構成する。問題提起から解決に至る過程で必要になる情報収集能力、分析能力および情報発信能力を身につけ、社会情勢の変化に対応した総合的な判断力を養うことに、重点をおく。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

研究活動や授業などでテーマ毎に与える課題を通し、各専門科目における基礎知識の理解度を、情報収集能力、分析能力および情報発信能力の観点から判定する。さらに専門的な特定の課題に対する総合的な視野に立った問題解決能力を、修士論文の内容やプレゼンテーションにより判定する。そして以上を総合した際に、企業、学校及び研究所における高度な問題に適切に対処できる能力が備わっていると看做された者に、学位を授与する。

